

## 学会在庫の刊行物について

現在、日本気象学会事務局に下記刊行物の在庫がありますのでご希望の方は事務局（千代田区大手町1の3の4気象庁内 TEL：(212) 8341 内線 469.）にお申し込み下さい。なお在庫数の少ないものもありますので、購入を希望の方は早急に願います。

なお価額は送料を含む値段です。

(三谷)

刊 行 物 の 名 称	発行年月日	頒布価額
気象学への手引	1971. 2. 20	150円
地球大気開発計画研究会議(GARP)報告(ストックホルム1967年6月28日～7月11日)	1968. 1	100
Proceedings of The WMO/IUGG Symposium on Numerical Weather Prediction in Tokyo Nov. 26～Dec. 4 U 1968	1969. 3	1,000
正野重方記念論文集	1971. 12	3,000
新しい気象学(第2回夏期大学テキスト)	1968. 7	400
(第3回    "    )		400
(第5回    "    )	1971. 7	500
(第6回    "    )	1972. 7	700
(第7回    "    )	1973. 7	1,000
(第8回    "    )	1974. 7	1,000
構造物の耐風性に関する第1回シンポジウム 論文集	1970. 5	1,500
同    第2回    "    論文集	1972.	2,000
同    第3回    "    論文集	1974.	2,500
First Symposium on Wind Effects on Structures in Japan (1970) (Summary of paper)	1970. 5	180
日本気象学会創立75年記念論文集(和文編)	1957	500
日本気象学会大会予稿集		
昭和37年秋季大会(気象大学校)		200
"    38年春季大会(新潟)		200
1966年秋季    "(札幌)		200
1968年春季    "(気象庁)		200
1971年秋季    "(札幌)		550
1972年春季    "(気象大学校)		600
1972年秋季    "(新潟)		600
気象集誌掲載論文著者別索引(第1巻～第36巻)	昭和34. 11	500
季節予報文献目録	1956	500
気象英文用例抜萃集	1960	500
気象学用語集 附 英和对語集	昭和25. 5	100

刊 行 物 の 名 称	巻 号	発行年	頒布価額
Papers in Meteorology and Geophysics	7巻1～4	昭和31年度	各号当り 600
	8巻1～4	32 "	"
	9巻1～4	33 "	"
	11巻2～4	35 "	"

Papers in Meteorology and Geophysics	12巻 1	昭和36年度	各号当り 600
	13巻 3~4	37 //	//
	14巻 1~4	38 //	//
	15巻 1~4	39 //	//
	16巻 1~4	40 //	//
	17巻 1~4	41 //	//
	18巻 2~4	42 //	//
	19巻 1~4	43 //	//
	20巻 1~4	44 //	//
	21巻 1.3~4	45 //	//
	22巻 1~2	46 //	//
	23巻 3~4	47 //	840
	24巻 1~4	48 //	//
	25巻 1~3	49 //	//

気象研究ノート

巻号	通巻	掲 載 論 文	頒布価額
4-2	32	Development Theory (荒川) 数値予報その 3-Charney の数値予報 (渡辺) 気象学研究と天気予報の合流調整についての討論会紹介 (吉武, 白田) 天気予報に対する Verification 補遺 (鈴木)	190円
5	35	群論と天気予報 (渡辺) 水理気象シンポジウム-降水量の予報 (高橋) 同一水理気象の諸問題 (石原) 同一水理気象業務 (作間) 台風進路予想のワークシート (斉藤将) 寒波 (安井) 半月平均天気図と天気変化との関係 (高橋)	200
6	36	数値予報委員会の発足 (K. S) Barotropic モデルによる数値予報 (大山) 超高層大気物理 (上) (堀内)	190
5-1	37	超高層大気物理 (下) (堀内) 東京の風一局地気象研究の一例 (渡辺) 中央アジアの天気型 (倉嶋) 調和係数 (小河内ほか) TAC (S.K.) 研究者と技術者 (S.K.) Henry Helmclayton (朝倉)	200
2	38	豪雨予報 (斉藤将), 昭和28年6月下旬北部九州の大雨 (竹永), 尾鷲の豪雨機構 (藤原ほか), 豪雨文献抄 (勝井) 降雨に関する最近の研究 (奥田, 朝倉), レーダーによる気象観測 (柳沢)	190
3	39	日食月食と凶作との関係 (高橋), 長期予報と水稻の豊凶 (小笠原), 季節予想凶作特集号 に関する問題 (守田) 今後の季節予報の研究 (朝倉), 大気オゾンと気象現象 (川村) その他	190
4	40	数値予報特集号 プリンストングループの数値予報 (岸保), 極東における数値予報の予備報告 (N.P グループ), 順庄モデルによる各層および大気の立体構造と天気との関係 (田中ほか) その他	190
5	41	数値予報特集号 2-パラメーターモデルによる数値予報 (大山), 準2重フーリエ級数を用いての数値予報 (窪田) Long range forecasting に対する一つの試み (岸保ほか), 2重フーリエ級数を用いての数値予報 (岸保ほか)	190
5-6	42	台風進路の数値予報 (佐々木, 都田), 乱流論よりみた大規模な大気じょう乱 (小倉, 都田) 大気の乱れの統計的研究その1 (窪田, 飯田) 12km の月平均風速場における平均渦度方程式の吟味 (毛利), 上昇速度の垂直分布 (有住, 鯨井), 台風に関する長期予報 (鈴木) 日本の風水害 (高橋) ジュームスの「シンノプティック形態学」	190
6-2	44	高層解析法, 2 (毛利), 垂直安定度を調べるスライスマソッド (渡辺), 大気の周期性 (朝倉)	190
3	45	予報技術に関する2, 3の考察 (斉藤), 中緯度循環試論, (倉嶋), 気候の永年変化1 (荒井)	190
7-2	50	降水生成論の概論 (今井), 暖かい雨 (駒林), 約30km までの上層の総観的知見 (荒川), 発散解析法1 (渡辺)	190
4	52	季節予報1 (高橋), 渦度を導入した上層風予報 (宇津木)	190

5	53	季節予報2 (高橋), 太陽活動と気象 (朝倉), 発散解析2 (渡辺), 守田氏法“暖冬と夏季気温”の一検討 (檜山ほか)	330
9-3	60	航空と気象 (東京航空地方気象台)	470
10-1	62	気象学におけるアイソトープの役割 (石川), 海流理論の概観 (Henry Slommel) 気象英文用例抜萃集-1 (渡辺)	190
2	63	スペクトルの概念による大洋の波の予報 (紹介) (久保)	200
4	65	中国をめぐる極東環流 (田辺), ソ連邦の長期予報事業 (須田), 気象英文用例抜萃集-2 (渡辺)	230
6	67	気候学特集号	500
15-2	83	農業気象特集号	220
4	85	工業気象特集号	260
16-3	88	サブミクロン, エーロゾル (三崎), 大気光学および放射的性質からみたエーロゾル (嘉納) 降水の電気 (孫野), 雷雲の電氣的構造 (田村), 雷から出る電磁波 (石川), 雷雲の電荷生成 (菊地), 電気放電の機構 (北川), シュマン共振振動 (柳原), 地表付近の大気電気 (近藤), 高層大気の電気現象 (内川), 宇宙空間電気現象 (大林, 村田)	470
	92	南北両半球大気間の相互作用 (飯田), 成層圏, 中間圏の温度, 風の状態 (中村, 清水)	500
	100	回顧と抱負 特集	970
	108	AH TyTMAH によるメソ気象学的過程の非線型理論序説	750
	109	対流に関する研究の現状と問題点	1,040
	115	日本海の気象	1,950
	116	ライダー (レーザー・レーダー) と気象観測	1,550
	117	モンスーンアジアにおける水の気候 特集号	1,900
	118	富士山の気象	1,570
	119	都市建築と気象シンポジウム (1969. 1972. 1973) から	3,000
	120	メソ気象	1,350
	121	雲物理特集 1 氷の物性	730



### 気象庁の定期刊行物について

現在, 気象庁から出版されている定期刊行物は, どのような種類のものがあるのか, 会員からの声もあつたので参考にあげておく.

気象庁月報	M	*農業気象年報	A	地磁気, 地電流観測報告—早回し記録—	A	測候時報	M
気象要覧	M	*大気放射能観測成績	A	気象庁観測技術資料	I	研究時報	M
上高層5年報	5Y	*全国海況旬報	10D	日本気候表	10Y	気象庁技術報告	I
上高層月報	M	気象庁海洋気象観測資料	SA	台風経路図	A	気象庁欧文年報	SA
特殊ゾンデ年報	A	潮位表	A	印刷天気図	D	験震時報	Q
地震月報	M	潮汐観測	A	*長期予報平均天気図	M	欧文海洋報告	SA
火山報告	Q	*図書月報	SM			船と海上気象	Q
気象庁年報	A	*地磁気観測所報告	A			*地磁気観測所要報	A
観測所気象年報	A						

A: 年刊      SA: 年2回      Q: 季刊      M: 月刊      SM: 月2回      D: 日刊  
 I: 不定期      5Y: 5年毎      10Y: 10年毎      10D: 10日毎

上記の出版物のうち\*印以外のものは, 日本気象協会, 東京本部広報部販売課 Tel 03 (293) 7295~6 において購入することができる. (三谷一郎)